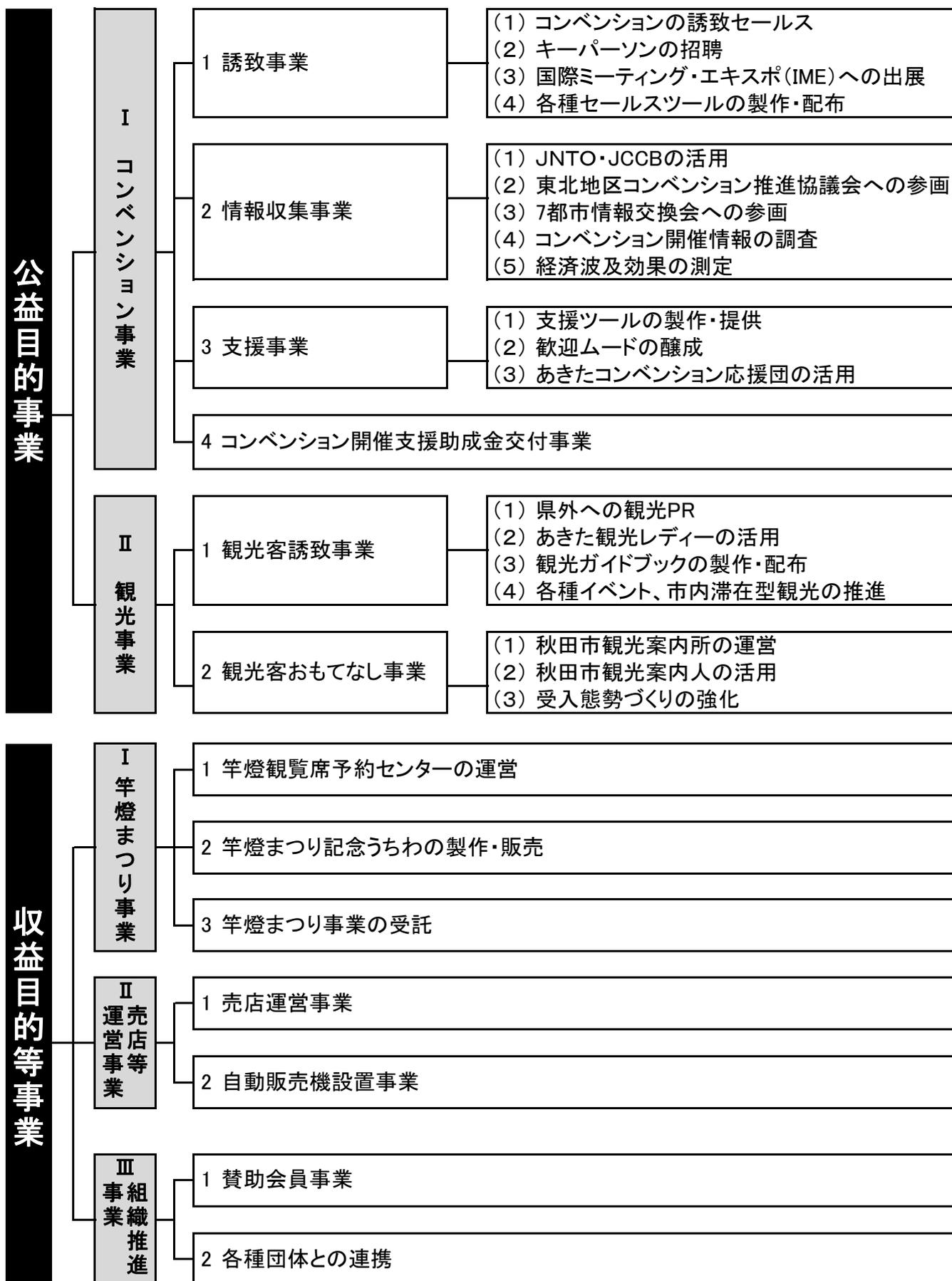


平成27年度事業計画

事業体系図



平成27年度事業計画

事業年度 平成27年4月1日～平成28年3月31日

事業計画作成にあたって

平成27年度事業計画について、26年度までに実施されたDCや国民文化祭など、大型イベント等の対応に拡充を図ってきた公益事業を継続的に推進するため、コンベンション事業では、「コンベンション開催支援助成金交付事業」の活用や情報収集などを戦略的に行うことで、コンベンションの誘致を推進するとともに、観光に結びつけた支援事業の充実を図るなど、きめ細かい支援に努めます。

観光事業では、DC後の観光客誘致の向上を目指すため、首都圏のみならず北海道や東北の近隣地域への誘致活動を積極的に実施するほか、多くの観光客に対応するため、秋田市観光案内所や秋田市観光案内人の効果的な活用やインバウンド需要に対応した観光情報提供システムを整備するなど、さらなる受入態勢の強化とおもてなしの充実に取り組みます。

また、秋田市で東北六魂祭が開催されることから、六魂祭実行委員会と連携し、多くの観光客に秋田の観光や食の提供・PR、Wi-Fi利用による観光案内など、秋田らしさで歓迎できる取組みに努めます。

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業

2,374千円

コンベンション誘致には、地元学協会事務局およびキーパーソンの開催意思表示が大きな要素となることから、幅広い情報収集に努め、本部事務局の情報を基に地元関係者に対し、効果的に積極的なセールス活動を行う。

また、誘致情報や折衝記録など一元化したデータベースを活用しながら、首都圏を中心とした本部事務局等候補となる可能性の大きい所を定期的に訪問し、コンベンション開催支援助成金制度やコンベンション施設、観光情報など、秋田の魅力を売り込むことで誘致の実績向上につなげる。

(1) コンベンションの誘致セールス

855千円

情報収集事業をはじめ、国際ミーティングエキスポ（IME）や7都市情報交換会等で得た情報をもとに、県内外のキーパーソンおよびコンベンション主催者に対し、積極的なセールス活動を実施し、早期の秋田開催の決定を促す。

- ・地元セールス・・・随時
- ・首都圏セールス・・・年10回程度（目標80件～90件）

〈開催の可能性のあるターゲット件数〉

分類	3年以内実施	5年以内実施	5年以上での実施
学術（医学系）	3	2	6
学術（医学系以外）	4	10	18
同業種団体	1	4	7
その他団体	3	2	6
合計	11	16	39

(2) キーパーソンの招聘

173千円

秋田開催の可能性のあるコンベンション主催者または開催を検討中の主催者を秋田市へ招聘し、会場の立地や規模をはじめとする現地視察やアフターコンベンションの市内視察など、秋田の魅力を実際に知っていただくことで、誘致決定に結びつける。

- ・年間2件（予定）

(3) 国際ミーティング・エキスポ（IME）への出展

830千円

国内最大のコンベンショントレードショーであり、コンベンション主催者・関係諸団体が多く訪れる「第25回国際ミーティング・エキスポ」へ出展し、助成金制度を始め、豊富な支援体制と、秋田市の魅力をPRすることで誘致に結びつける。

- ・主催：観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)
- ・開催日：平成27年12月中旬 東京国際フォーラム 展示ホール

(4) 各種セールスツールの製作・配布

516千円

助成金制度や支援体制、コンベンション施設・宿泊先などを紹介する「コンベンション誘致パンフレット」を製作し、配布するほか、PR用のノベルティを製作し、セールス活動に活用する。

- ・コンベンション誘致パンフレット 1,000部製作
- ・ノベルティグッズ 2種類製作（予定）

2 情報収集事業

1, 275千円

(1) J N T O ・ J C C B の活用

170千円

J N T O (日本政府観光局)

海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議の誘致・支援及びその他情報提供している。

J C C B (日本コンGRES・コンベンション・ビューロー)

日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

J N T Oが発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。また、J C C Bに参画し、年2回開催されるコンベンションビューロー部会やコンベンション開催意向調査データを活用し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる有益な情報収集を図る。

- ・第1回コンベンションビューロー部会 :平成27年 7月 (千葉市)
- ・第2回コンベンションビューロー部会 :平成28年 2月 (北見市)
- ・コンベンション開催意向調査データ 約4,400件の主催者情報

(2) 東北地区コンベンション推進協議会への参画

324千円

新潟県の3市を含む、東北地区のコンベンション推進団体により結成される協議会へ参画し、他都市の誘致活動状況や東北規模のコンベンション情報を共有するほか、東日本大震災による東北地区でのコンベンション開催件数の減少を東北全体の問題と捉え、会員都市が一丸となってコンベンションを東北へ誘致するための合同誘致セールス事業を前年度に引き続き都内で開催する。

- ・定例総会 :平成27年 8月 (郡山市)
- ・実務職員研修会 :平成27年10月 (上越市)
- ・合同誘致セールス :平成28年 2月 (東京都)

※会員都市 青森県：青森市、弘前市、八戸市
(16団体) 岩手県：盛岡市
山形県：山形市、庄内地区、米沢市
宮城県：仙台市、気仙沼市
福島県：郡山市、福島市
新潟県：新潟市、長岡市、上越市
秋田県：秋田市、横手市

(3) 7都市情報交換会への参画

630千円

全国規模のコンベンションは、全国を各ブロックに分けて持ち回り開催することが多いことから、7都市情報交換会加盟7都市において、今後各都市で開催予定のコンベンション主催者を誘致懇談会に招待し、紹介し合うことで効率的に情報収集し誘致活動に結びつける。

- ・誘致懇談会 : 平成28年1月中旬 東京都
 - ・担当者会議 : 年5回(7月、12月、1月、2月、3月)
- ※加盟都市(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島)

(4) コンベンション開催情報の調査

118千円

秋田市内で開催される、各種大会の実施予定を調査し、コンベンションカレンダーやホームページにより広く情報提供する。また、賛助会員には、より詳細な情報を提供することにより会員メリットを創出する。

- ・平成27年度秋田市開催予定件数

大会規模	平成27年度	平成26年度(参考)
国際大会	1	4
全国大会	41	74
東北大会	48	71
合計	90	149

(5) 経済波及効果の測定

33千円

地域経済の活性化につながるコンベンションの有効性について、コンベンション主催者・参加者へのアンケートを実施し、経済波及効果等を測定する。

[参考]

平成26年度コンベンション開催による経済波及効果(速報値)
約60億円(※国民文化祭を除く)

県外参加者一人あたりの経済効果

- ・直接的経済効果 61,607円
- ・間接的経済効果 117,385円
- ・経済効果 178,992円

※JCCB発行の経済波及効果測定ハンドブックにより集計

3 支援事業

3, 562千円

主催者がコンベンションを円滑に開催できるよう、主催者および参加者が満足する、きめ細かい支援体制の充実を図る。

(1) 支援ツールの製作・提供

1, 716千円

アフターコンベンションに活用できる観光ガイドブック等を無料提供するほか、コンベンションバックを製作し、販売する。

- ・観光ガイドブック配布予定数 90大会
- ・コンベンションバック製作 10, 000部

(2) 歓迎ムードの醸成

1, 581千円

コンベンションを歓迎するポスターを製作し、賛助会員の飲食店やお土産店舗へ配布するほか、伝統芸能出演料の助成やあきた観光レディーを無料派遣するなど、歓迎ムードの醸成を図る。

また、秋田市滞在時間の拡大と、観光地の活性化や経済波及効果拡大のため、市内観光エクスカージョン助成を実施する。

- ・支援対象：国際大会100名以上、全国大会500名以上、東北大会800名以上
- ・支援内容：
 - 歓迎ポスター・・・850枚製作し飲食店等へ配布
 - 伝統芸能出演料助成金・・・出演料の1/2かつ上限50, 000円を助成
 - あきた観光レディー・・・2名まで無料派遣
 - 市内観光エクスカージョンバスへの助成・・・1台50, 000円

(3) あきたコンベンション応援団の活用

265千円

コンベンションを円滑に開催させるため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、主催者をサポートする。

- ・現在登録者：27名（平成27年2月末時点）
- ・派遣対象：国際大会100名以上、全国大会500名以上、東北大会800名以上
- ・派遣人数：延べ10名まで無料で派遣

4 コンベンション開催支援助成金交付事業

16, 000千円

秋田市において開催されるコンベンションの主催者に対し、開催費用の一部を助成金として交付し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつけることを目的として、平成25年度より実施している交付事業であり、誘致活動におけるインセンティブとして有効活用を図る。

- ・主な交付条件：東北規模以上のコンベンションで県外参加者が100名以上
- ・助成金額：県外参加者1名につき1, 000円

II 観光事業

1 観光客誘致事業

23,996千円

秋田市の地域経済の活性化および交流人口の増加による文化の向上に結びつけるため、観光PRキャラバンや物産展などへ参加するほか、ホームページなど各種媒体を活用したPRを実施し、観光客誘致の促進を目指す。

平成26年度まで3カ年実施してきた大型観光キャンペーン（DC）終了後の更なる観光客の誘致促進を図る。

また、2020年の東京オリンピック開催に向け、増加する外国人観光客への対応について、県・市など関係機関と調整・検討していく。

(1) 県外への観光PR

5,504千円

首都圏や北海道、東北などで実施されるイベント等への参加や、県・市と連携したメディアキャラバン等へ、あきた観光レディーや協会職員を積極的に派遣し観光PRを行うほか、ポスターやパンフレットなどの活用により、秋田の魅力を広くPRすることで観光誘客を展開していく。

- ・東北六魂祭

期日：平成27年5月30日（土）～31日（日）

会場：秋田市内

- ・函館・東北チャリティープロモーション

期日：平成27年6月27日（土）～28日（日）

場所：北海道札幌市（大通公園）

- ・浅草（竿燈まつり公演）

期日：平成27年9月下旬

場所：浅草（浅草寺境内ほか）

- ・誘客ポスター（秋田美人ポスター）

製作部数 2,400枚（予定）

掲出場所 首都圏JR主要駅、市内観光施設ほか

- ・ホームページの運用

県内外の観光客に対し、ホームページにおいて様々な観光情報を提供し、秋田の魅力をPRする。

(2) あきた観光レディーの活用

3,649千円

秋田市開催が決定されている「東北六魂祭」や「秋田竿燈まつり」などの行事を始め、県内外で予定されている各種観光イベントなどの派遣依頼に応じるため、任期2年目となる3名に新たに公募により選考する3名を加え、現在と同様の全6名体制で活動する。

(3) 観光ガイドブックの製作・配布

7, 237千円

秋田市の魅力と情報が詰まった観光ガイドブック「遊来楽（ゆらら）」を製作し、「東北六魂祭」や「秋田竿燈まつり」に訪れる多くの観光客に配布することで、利便性の向上を図る。

- ・冊子版 40, 000部
- ・ダイジェスト版 50, 000部
- ・外国語版 8, 000部 (英語・韓国語・中国語)

(4) 各種イベント、市内滞在型観光の推進

7, 606千円

桜の名所100選に選ばれた「千秋公園」で、桜まつりやつつじまつりを開催し、県内外からの誘客に努めるほか、地域資源を活用した観光ツールや実効性のあるツアー企画など、秋田らしさに触れる場を創出することにより、観光客を引きつける魅力ある市内観光を提供していく。

- ・千秋公園桜・つつじまつり
期間：桜まつり・・・平成27年4月中旬から下旬（予定）
つつじまつり・・・平成27年5月中旬から下旬（予定）
- ・あきた落の栽培
アゴラ広場前に秋田の特産品である「あきた落」を栽培し、手近に観光客などに広く紹介する。
- ・モニターツアーの実施
市内滞在時間の増加に結びつく観光メニューやコースを設定したモニターツアーを実施し、今後のコンベンション開催時のエクスカージョンなどに活用できるメニューを開発する。（26年度に引き続き酒蔵をメニューに取込み実施。）
- ・冬期間メニュー
中心市街地に横手かまくらを製作（なかいちウインターパークへの参加）することで、冬季観光ツールとして、また、賑わいづくりのメニューとして観光客などに広く紹介する。

2 観光客おもてなし事業

23,696千円

秋田市を訪れた観光客を、きめの細かい「秋田ならではのおもてなし」で迎えることにより、観光客に対する秋田のイメージアップを図り、平成26年度まで続いた大型観光キャンペーン終了後も更なるリピーターの増加につなげていく。

(1) 秋田市観光案内所の運営

10,691千円

観光客に対し、窓口や電話にて市内および県内各所の観光施設や行事等、観光客のニーズに沿ったリアルタイムな情報を提供する。

観光客への適切な情報発信やレンタサイクルの貸出など、観光客の利便性の向上と観光案内の充実に努め、おもてなし態勢の強化を図る。

(2) 秋田市観光案内人の活用

1,960千円

秋田市の名所や旧跡、歴史などを案内する「秋田市観光案内人」を育成し、観光メニューとして活用するほか、「まちあるき観光」の魅力向上と充実に努めるとともに、“まちあるき観光案内所”を設置することで、観光客等に魅力ある「まちあるき観光」を提供する。

- ・秋田市観光案内人の育成

現在登録者：33名（平成27年2月末時点）

- ・まちあるき観光案内所

4月中旬～12月末の土日祝日および大型コンベンション開催時などに中心市街地の「エリアなかいち」内に設置する。

- ・まちあるきガイドブックの製作

部数 20,000部

(3) 受入態勢づくりの強化

11,045千円

秋田を訪れる観光客を温かく迎えることで、好印象を与え、リピーターの増加に繋げる態勢をつくり上げるため、観光業の従事者などを対象とした「おもてなしセミナー」を開催し、「秋田ならではのおもてなし」を強化していく。

また、竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置やインバウンド観光客向けの情報発信サイトの構築など、国際化対応を見据えた観光事業を展開していく。

そのほか、秋田を訪れた観光客の満足度調査を実施し、問題点などを各関係機関に現状把握や業務改善に役立つ情報としてフィードバックすることで、受入態勢の強化を図る。

- ・おもてなしセミナーの開催

開催時期：7月、9月の2回開催（予定）

対象者：宿泊業、飲食業などの観光事業の従事者

- ・外国人観光客の受入態勢の充実

竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置やWi-Fi環境の整備を進めていくほか、秋田市からの委託事業（新）として、秋田市観光ガイドブック「ゆらら」の情報をスマートフォンやタブレット端末等で手軽に閲覧できる外国語版サイトを構築する。（※英語・韓国語・中国語に加え、タイ語にも対応予定。）

【収益目的等事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営	95千円
-------------------------	-------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

- ・委託期間：平成27年4月1日（水）から9月30日（水）
団体予約開始：4月1日（水）10：00から
個人販売開始：5月1日（金）10：00から

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売	603千円
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

- ・製作本数：20,000本
- ・販売価格：1本150円

3 竿燈まつり事業の受託	7,904千円
---------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、下記の事業を行う。

- ・委託期間：平成27年4月1日（水）から8月31日（月）
- ・業務内容：警備員の配置、従事者弁当の手配、臨時職員の雇用

II 売店等運営事業

1 売店運営事業	4,663千円
-----------------	----------------

①千秋公園売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬
- ・営業時間：9時から16時（桜まつり開催時、悪天候時は閉店時刻変更）

②県立中央公園スポーツゾーン売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬（イベント開催時のみ営業）
※営業を賛助会員へ委託

2 自動販売機設置事業	1,879千円
--------------------	----------------

- ・設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、檜山コミュニティセンター、スポーツパークかわべ、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉ユアシス、特別養護老人ホーム花の家、高尾山（計39台）

Ⅲ 組織推進事業

新規賛助会員獲得のため、賛助会員に対するメリットの検証や新たなサービスの充実を図るほか、各種団体と連携し、新規賛助会員情報の収集と公益法人としての社会的地位の確立を目指す。

1 賛助会員事業

659千円

賛助会員が一同に会する場を提供し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

- ・開催時期：平成28年3月
- ・会場：未定

2 各種団体との連携

563千円

地域活性化に向けた市民・県民や各種団体との連携会議等に積極的に参画し、情報の収集と人的交流により、賛助会員に最新の情報提供や、当協会の事業内容の周知を図り協会の存在を周知する。